



# 仙台広瀬川ワイズメンズクラブ

## 2024年3月号ブリテン

通算第150号 2024.3.31



事務所 〒980-0822 仙台市青葉区立町9-7 仙台YMCA内

TEL: 022-222-7533 FAX: 022-222-2952

Email: otada@mail.tohoku-gakuin.ac.jp 書記 多田 修

ブリテン: <http://ys-east.jimdo.com/bulletin/sendaihirosegawa/>

第1例会: 毎月第3水曜日・第2例会: 毎月第1水曜日 仙台YMCA 18:30

2022—2023年度 主 題 (Theme)

国際会長: (IP) ウルリック・ラウリドセン(デンマーク) 「輝かそう、あなたの光を」

アジア太平洋地域会長: (A・P) 利根川恵子(川越クラブ) 「変革のための光となろう」

東日本区理事: (RD) 山田公平(宇都宮クラブ) 「未来のために今、学びと気づきを!

未来のために、自信を育み、真の喜びに出会う！」

北東部長: 大久保 知宏(宇都宮)

「ユースと共にクラブのミッションをそだてよう」

仙台広瀬川クラブ会長: 菅野 健

「震災とコロナを乗り越えた力でワイズとYMCAの協働を進めよう」

### 今月の聖句

自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を許し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。

ヨハネの手紙一 1章9節

加藤 雄一

### 巻頭言

#### 『桜』

増山和憲

テレビから各地で桜の開花宣言が発表され、仙台も、もうすぐでしょう。宮城でも桜の観光名所はたくさんあり、多くの皆さんが桜の開花を心待ちにしていると思います。あっという間に散ってしまう桜ですが、こんなに心と目を奪われるのはなぜでしょうか?

私も、桜の訪れを心待ちにしている一人です。たくさんの桜の花が満開している場所も素敵ですが、ひっそり咲いている桜もとてもきれいです。

私の故郷である、青森県はゴールデンウィーク頃がちょうど見頃の時期です。今年も多くの皆さんの心に残る桜、笑顔を運ぶ桜が満開するでしょう。

2023~2024 年度 クラブ役員					
会 長	菅野 健	メネット副会長	加藤 真紀子	ユース	佐藤 健吾
副 会 長	加藤 研	地域奉仕CS	阿部 松男	YMCAサービス	門脇 秀知
書 記	多田 修	地域奉仕CS	佐藤 健吾	YMCAサービス	佐藤 善人
書記補佐	増山 和憲	会員増強EMC	加藤 研	ブリテン	増山 和憲
会 計	多田 修	会員増強EMC	清水川 洋	ブリテン・聖句	加藤 雄一
会計補佐	多田 純子	DBC	菅野 健	ドライバー	増山 和憲
監 査	加藤 雄一	DBC	村井 伸夫	担当主事	増山 和憲
メネット会長	多田 純子	ユース	佐藤 剛		

2月第1、3月第1・第2合同ピンクシャツデー 例会 強調月間：							
在籍者	12名	出席者	5名	メイキャップ	0名	出席率	41%
メネット	2名	ゲスト・ビジター	2名	ニコニコ		5,000円	

**◆仙台広瀬川ワイズ◆**

**【2月第1、3月第1・第2合同ピンクシャツデー例会 報告】**

2024年3月6日（水）18:45 場所：仙台YMCA 203教室  
 協調月間：T O F  
 参加者：加藤研メン、加藤メン、菅野メン、多田メン、加藤（研）メネット  
 多田メネット、増山

「黙祷」

1. 開会点鐘 会 長 菅野 健  
 2. ワイズソング — 同  
 3. ワイズの信条 — 同  
 4. ゲスト紹介  
 ・堀越 祥浩氏（健康教育事業部）  
 ・橋本 俊博氏（元仙台YMCA職員）

5. 会長挨拶 会 長 菅野 健  
 「2月の例会は雪のため延期。2月第1例会との合同例会となる。ゲストの参加やスピーチを聞くことも久しぶり。楽しい例会を行いたい。」

6. 今月の聖句・感謝の祈り 加藤 雄一  
 「自分の罪を公に言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、罪を許し、あらゆる不義から私たちを清めてくださいます。」  
ヨハネの手紙—1章9節

7. ゲストスピーチ 堀越祥浩氏 『能登半島地震の支援』  
 ・1.5次避難所活動報告を健康教育事業部の堀越氏よりスピーチをいただきました。1.5次避難所の運営、1.5次避難所としての新たな取り組み、概要、避難所の様子、1日の流れなどパワーポイントを使用しながら話していただきました。堀越氏より「避難所は日々変化していく生き物だと感じた。」という言葉が印象に残りました。東日本大震災を経験した私たち。最後に堀越氏から、1人1人が災害に備えてどんな準備が出来ているかが大切なことです。と言葉がありスピーチが終了しました。

## 8. ピンクシャツデー記念撮影

## 9. 協議事項

### 1) 今後のクラブ運営について

・仙台クラブとの合併に向けての話し合いを相互のクラブ会長間で進めていきたいと菅野会長より言葉があり、出席者から、意見がなかったため、この件については、菅野会長に一任する方向で決まった。

## 10. 連絡・報告

・担当職員の増山より、3月3日（日）に行われた、登半島地震の街頭募金を行い、132,776円の募金額になったことを報告しました。また、風が強く寒いでしたが、多田メネットにも街頭募金にご協力いただいたことを報告しました。

## 11. 誕生日祝い・ニコニコ

(2月10日 佐藤健吾さん 2月21日 加藤研さん)

## 12. 閉会挨拶

・加藤研メンより被災で気をつける3の理（酸素がなくなると3分。低体温は3時間。水がないと3日）上記のことで命が失われる。キャンプスキルが活かされる。YMCAはノウハウがあるので発信していくべきでは思ったとの言葉があり閉会となりました。



左下には、スピーカーの堀越氏。ピンクの物を身に着けての例会となりました。

## ボランティア感謝会

3月17日（日）にボランティア感謝会が行われました。YMCAは、ボランティアによって支えられています。ユースボランティアリーダーやワイズの皆様方など。ボランティア感謝会では、社会へ巣立つユースボランティアへのエールも送られました。広瀬川ワイズメンズクラブからは、菅野メン、加藤研メン、加藤雄一メンが参加し、多くの学生と交流を持つ時間となりました。菅野メンからは「ボランティアで多くの子どもたちを支えてきたと思うが、ボランティアをしているみんなも子どもたちから与えられたものは多い。その事を忘れないで欲しい」という言葉があり、加藤研メンより、ドラえもん『のび太』は何をやっても良いところがないが、でも何度もつまずきながらも決して人生をあきらめないのがのび太の良いところだ。

挫折しても明るく夢を見続ける『自分を見捨てない人』ということを経験の天声人語を活用しながら話して下さいました。神様に見守られ、今年度のボランティア感謝会も素敵な時間になりました。

(報告：増山)



ユースボランティアリーダーへ、エールを贈る菅野メン



みんなで一緒に！集合写真！

## 仙台YMCA通信

◆3月30日(土)午前10時より立町会館にて辞令交付式が行われました。新入職員の決意表明や先輩職員から励ましの言葉が贈られました。また、4月より開始する1,2歳児の受け入れのための工事が進められていた厨房等の開所式が行われました。

◆健康教育事業部では、春季プログラムが行われています。スキーキャンプや集中水泳、体操クラスなどが行われています。3月に行われた各プログラムは無事に終了いたしました。4月のクラスも安全第一にプログラム運営を行ってまいります。

### 【編集後記】

朝の楽しみは、豆から挽いたコーヒーを飲むことです。朝早く出勤しなくてはならず飲めない時もあります。朝からほっと一息、良い時間です。

【K・M】